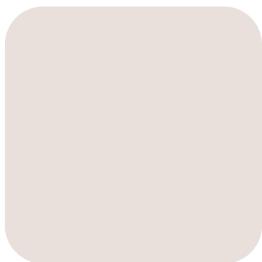
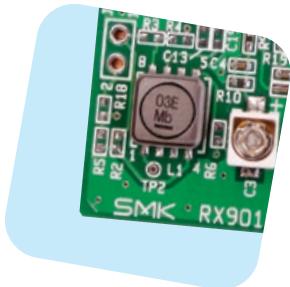
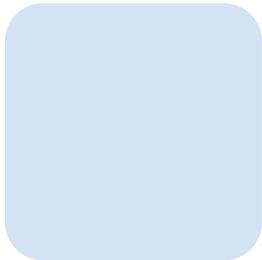
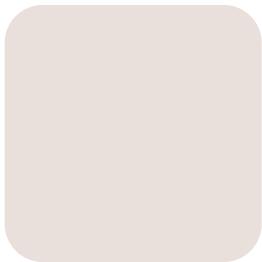


株主・投資家のみなさまへ



## 第89期 経営報告書

2010年4月1日から2011年3月31日まで

SMK株式会社

# 夢・感動・未来

## — It's all in your hands! —



### ●企業理念

SMKは可能性の追求を通して総合的な高度技術により、情報社会の発展に寄与する。

### ●SMK「行動指針」

1. 社会への貢献を考え、誇りと自信をもって行動する。
2. ユーザーの立場を考え、熱意と誠意をもって行動する。
3. 高い目標を考え、失敗を恐れぬ勇気をもって行動する。
4. 明るい社風づくりを考え、信頼と尊重をもって行動する。
5. 世界の中のSMKを考え、国際的視野をもって行動する。

### Contents

財務ハイライト(連結)	2
トップメッセージ	3
事業部門別の概況(連結)	5
新製品ご紹介	7
TOPICS	9
事業所のご紹介	12
決算概要(連結)	13
決算概要(単独)	15
株式の状況	17
コーポレートデータ	18

## ●財務ハイライト(連結)

### 売上高

619億1千4百万円  
(前期比3.8%減)

スマートフォン向けスイッチなどの販売が大きく増加しましたが、円高等の影響により全体としては減収となりました。

### 経常利益

25億5百万円  
(前期比3.0%減)

新製品投入など諸施策の推進により、営業利益は増加しましたが、円高による為替差損等の影響により、減益となりました。

### 当期純利益

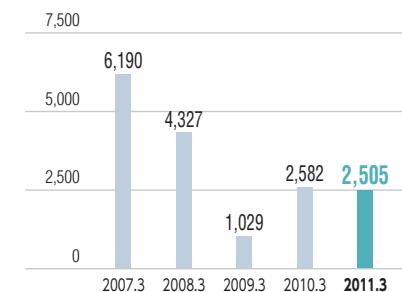
10億3千7百万円  
(前期比44.3%減)

東日本大震災による災害損失の計上等により減益となりました。

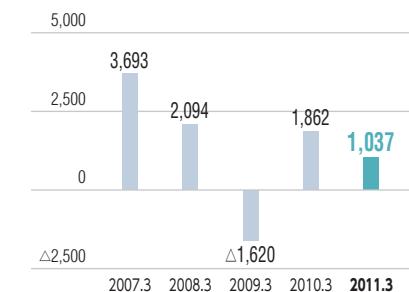
売上高 (単位:百万円)



経常利益 (単位:百万円)



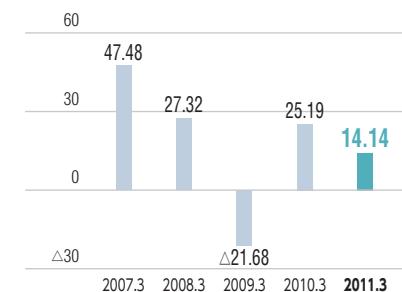
当期純利益 (単位:百万円)



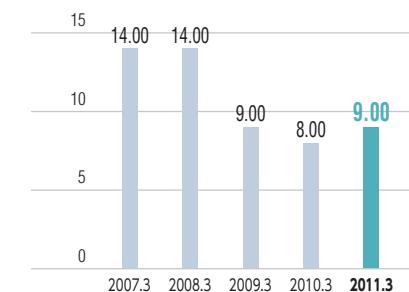
総資産額/純資産額 (単位:百万円)



1株当たり当期純利益 (単位:円)



1株当たり配当金 (単位:円)



第89期期末(2011年3月末)の配当金は1株当たり9円とさせていただきます。



代表取締役社長

中村 哲也

### はじめに

このたび東日本大震災により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

当社におきましては、社員への人的被害はなく、設備・機械等の生産設備への影響も軽微にとどまり、早期に平常の生産体制に復帰することができました。

また、株主様、お取引先様をはじめとする方々よりお見舞いの言葉を頂戴いたしました。厚く御礼申し上げます。

今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 当期の概況

当期における世界経済は、新興国を中心に緩やかながら景気の回復傾向が見られましたが、欧州での金融不安さらには中東における政情不安などにより先行き不透明な状況で推移いたしました。

日本経済も、生産調整が進捗するとともに海外の需要増を背景に輸出が増加し、企業収益の改善傾向が見られましたが、年後半より急激な円高の進行傾向が強まるなど、全体としては先行き不安を払拭するには至らない状況にあります。

当エレクトロニクス業界におきましては、不透明な外部環境に取り囲まれているものの、スマートフォンの台頭による携帯電話向け、および自動車向けなどの部品需要が拡大し、基本的には緩やかな回復基調をたどっております。

2011年3月11日に発生した東日本大震災は日本経済さらには世界経済にも大きな影響を及ぼし、当社についても

生産設備が一部被害を受けたほか、売上高にも影響を受けました。このような状況の下、当社は積極的な新製品の投入と価格競争力の向上、営業力の強化などに努めてまいりましたが、当期の連結売上高は619億1千4百万円（前期比3.8%減）となりました。収益については、売上高の減少に対して、原価低減、固定費削減に努めた結果、営業利益は増益となりましたが、円高による為替差損と震災による災害損失があり、当期純利益は減益となりました。

世界的には景気が回復傾向に向かいつつある中で、東日本大震災という未曾有の災害に見舞われ、当エレクトロニクス業界においてもサプライチェーンへの打撃は多方面にわたり、また産業界全体にとっての重大課題である電力不足への対応も迫られているところであります。

当社としては足許の不透明な市場環境に対応し回復軌道への早期復帰に努めるとともに、環境関連をはじめとする成長分野への機敏な対応と新市場の開拓を図るなどして、業績の維持向上に努めていく所存であります。

世界の情報技術社会は休むことなく進化を続け、ユーザーニーズもますます多様化し、かつてない速さで日々変貌を遂げております。

当社はこうした環境の変化に対しマーケティング力の強化、新しい可能性に挑む技術開発力の強化、また商品開発と一元化されたフレキシブルな生産体制の確立によりさらなる発展を目指してまいります。

「SMKブランド力の向上」「品質改善（Zero Defect運動）」「ものづくりへの再チャレンジ」に引き続き注力し、グローバル市場での競争力の向上を図り、お客様から信頼いただける企業づくりに取り組む所存です。

“よい部品がよい製品を造る”、当社はあくまでも“良心的パーツ”を追い続けてまいります。

さらに当社では、人類共通の課題である「低炭素社会」「循環型社会」の実現に向けて環境教育を徹底し、社員ひとりひとりの意識の向上を図っております。

当社は「地球環境との共存」を重要な経営課題として位置付け、社会の要請に応える企業として柔軟かつ着実に前進したいと考えております。

当社を取り巻く環境は今後も予断を許さない状況が続くものと予想されますが、さらなる企業価値と収益力の向上に向けて全社一丸となって邁進する所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2011年6月

代表取締役社長

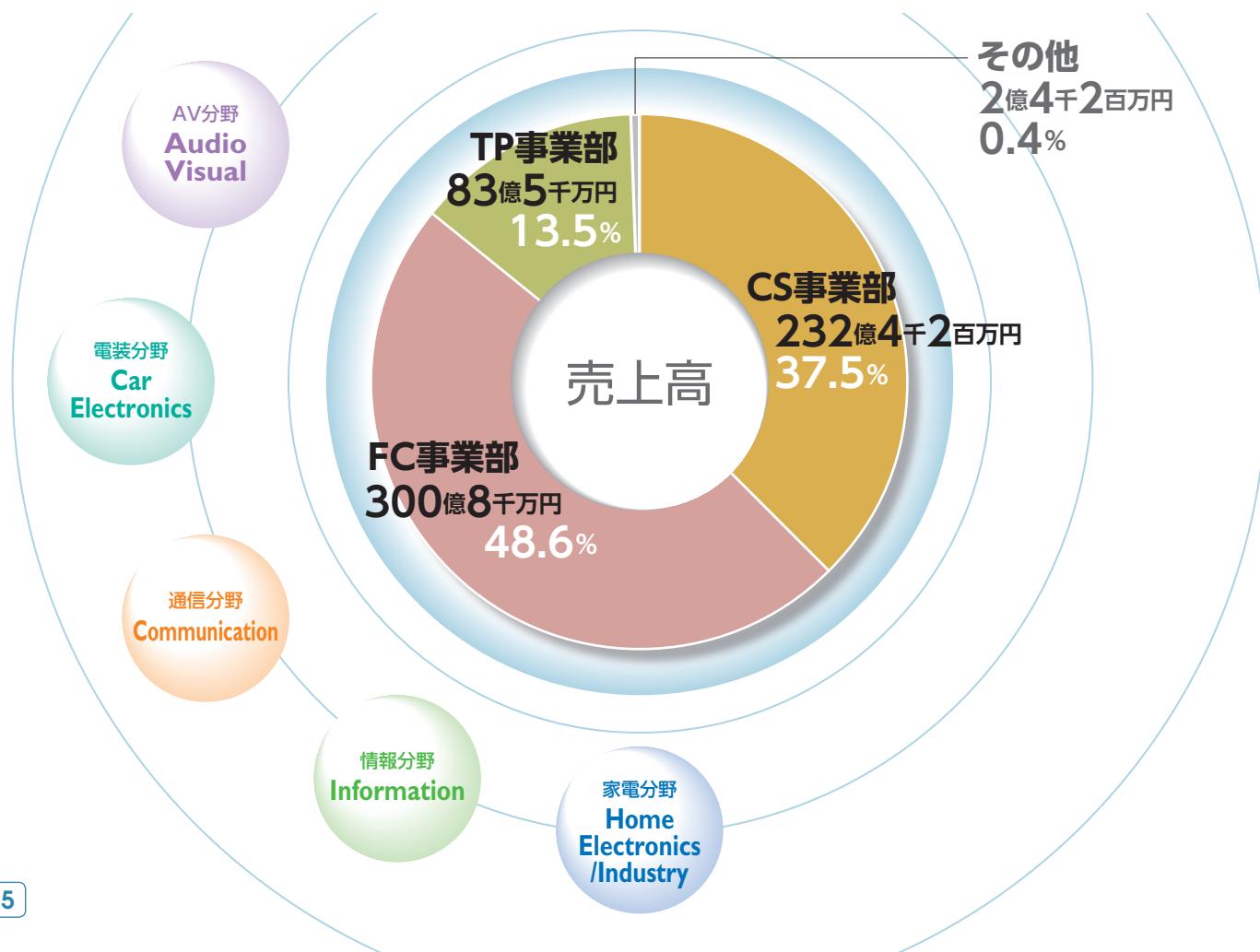
中村 哲也

## 事業部門別の概況(連結) (2010年4月1日~2011年3月31日)

SMKが生産する数々の電子部品やコンポーネントは、国内そして世界のエレクトロニクス業界で広く使用されています。その市場は「オーディオビジュアル」「カーエレクトロニクス」「コミュニケーション」「インフォメーション」「ホームエレクトロニクス/インダストリー」の5つに大別されます。

これら5つの分野で、つねに市場のニーズに応えた製品を開発するために、商品企画から設計、量産までを担当するのが、「CS (Connection System) 事業部」「FC (Functional Components) 事業部」「TP (Touch Panel) 事業部」の3つの事業部と、主に新規分野等の製品の設計、開発を担当する「開発センター」です。

ここでは、3つの事業部の事業部門別の概況をご報告します。



### ■事業部門別の概況

#### CS事業部

#### Connection System Division

【主要品目】

- ・同軸コネクタ
- ・FPCコネクタ
- ・基板対基板コネクタ
- ・ジャック

上期はエコポイントや補助金制度に後押しされたデジタル家電・カーエレクトロニクス向けに加え、スマートフォン・PC関連向けが好調で計画を上回って推移しましたが、下期に入り急激な円高・欧州信用不安等により市況環境が悪化し、主に携帯電話とゲーム機器関連向けが販売不振となり低迷いたしました。

現在、新エネルギーで注目のソーラーシステム向け需要が急増しており、LED照明向けも期待されます。

主力の情報通信・AV市場に加え、環境分野・医療分野でもビジネス拡大を目指しています。

#### FC事業部

#### Functional Components Division

【主要品目】

- ・スイッチ
- ・Bluetooth® ユニット
- ・リモコン
- ・カメラモジュール

上期は携帯電話関連、特にスマートフォンを中心とした通信機器分野向けに加え、車載を中心とした電装品向けの売上が好調に推移しました。またエコポイント効果により、エアコン関連向けおよび、住宅設備向けも売上拡大に貢献いたしました。しかしながら、下期に入り市況の変化により全体的に低迷し、特にゲーム機器関連向けやPC関連向けは低迷いたしました。今後は市場拡大が見込める車載・環境関連を中心に新規部品の開発と市場投入を促進し、売上の中心であるリモコンを中心とした既存ビジネスもさらなる拡大を図ってまいります。

#### TP事業部

#### Touch Panel Division

【主要品目】

- ・抵抗感圧式タッチパネル
- ・静電容量式タッチパネル
- ・光式タッチパネル

北米、中国、新興国向けの好調な新車需要に牽引され、カーナビゲーション用タッチパネル販売は好調に推移いたしました。スマートフォン市場向けでは、数種のモデルにおいてお得意様の市場投入日程が変更になったこともあり、予定を下回りました。産機市場においては、中国向けの需要に支えられ、ほぼ予定通りの売上となりました。今後は急速に需要が増えている中型、大型静電容量タッチパネルの開発を加速させ、車載市場、タブレット機器市場、POS市場等へ商品投入し、さらなるビジネス拡大に向け尽力してまいります。

上記以外にも「その他」として2億4千2百万円の売上高があり、開発センターの売上高は「その他」に含まれます。

## 安全性、耐熱性を考慮したLED照明用コネクタを開発

LED照明市場は注目が高まり、需要の拡大が期待されています。当社ではこの市場に注目し、このほどLED照明用コネクタのシリーズ品を拡充しました。

当シリーズ品は、IEC規格、電気用品安全法の規定に準拠しています。沿面距離、空間距離を確保して安全性および耐熱性にも考慮しています。

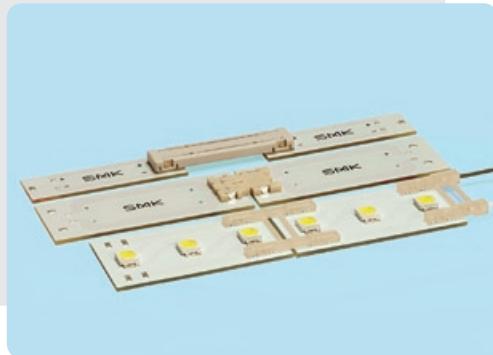
製品レパートリーは、ベース照明・ライン照明用に3タイプ、LED電球用に2タイプの計5タイプを揃えました。ベース照明・ライン照明用の3タイプ（LT-1, LT-2, LT-3シリーズ）は、LED実装基板どうしの接続、およびLED実装基板と電源基板を接続するコネクタです。LED電球用の2タイプ（LT-4, LT-5シリーズ）は、LED実装基板と電源基板を直接接続するワンピースタイプのコネクタです。

これらのシリーズは、ハーネスレスでの組立てを実現し、長期使用時の信頼性確保と工数削減に貢献します。

今後も発展が期待される本市場の要求に応えるとともに、積極的な拡販活動を展開してまいります。

### LED照明用コネクタ

用途：LED照明、LED電球



## ミニワンドームスイッチを開発

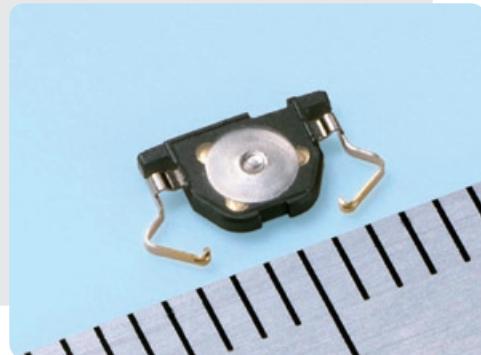
近年、携帯やその他小型機器市場においては、電子部品の小型化・薄型化が要求されています。これに対応すべく、このほど小型化・薄型化を実現した“ミニワンドームスイッチ”を開発いたしました。本製品は、スマートフォン市場向けに販売好調な「ワンドームスイッチ」のラインナップ追加であり、従来製品の面積比30%のサイズダウンを実現しております。

また、スイッチに対してはセット組立て時やユーザー使用時における落下などでスイッチが基板から剥離するなど、より高い信頼性も求められています。その対応として、ワンドームスイッチにて高い評価をいただいております“コンタクトスプリングタイプ”を継続採用することにより、安定した接触信頼性を確保しています。さらに、本製品は従来製品で使用していたカバーをなくし、代わりにアクチュエータ付きシートを採用して組込み時の位置ズレにも対応しています。

今後は携帯機器、タブレットPC、ポータブル機器など幅広い用途への展開を見込んでおります。

### ミニワンドームスイッチ

用途：携帯電話、その他携帯機器



## 投影型静電容量式タッチパネル

当社は、市場からの要求がますます強くなってきている、マルチタッチ対応投影型静電容量式タッチパネルを積極的に開発し、受注、販売を伸ばさせております。

昨年度は携帯端末機向けに操作性に優れ、薄型化、軽量化に重点を置いた商品を開発し、国内携帯電話メーカー数社に納入いたしました。

さらに、車載市場からの要求にも応えるべく、カーナビ用車載純正仕様静電容量式タッチパネル（使用温度範囲：-30～+85℃、保存温度範囲：-40～+95℃）も業界に先駆けて開発し、受注活動を開始いたしました。

今後は静電容量式タッチパネルの大型化および操作感のさらなる向上に重点を置いて開発を進め、国内市場のみならず海外市場向けへの受注、販売の拡大を目指してまいります。

### 投影型静電容量式タッチパネル（携帯端末用／車載用）

用途（携帯端末用）：  
携帯電話



用途（車載用）：  
カーナビゲーション、  
車載用センターコントロール



## 人体通信モジュールの開発

電界方式を利用した人体通信モジュールを開発いたしました。

人体通信とは、人体が微弱な電流を流す性質を持っていることに着目して開発された人体を通信経路にする技術です。

人体通信は、触れることにより通信、データ伝送を行うことができます。これによる利点は従来の電波による通信とは違い、通信媒体である人体から外にデータが漏洩しない「秘匿性」、また、電波を放射する必要がなく消費電力が少ない「省電力性」などが挙げられます。

人体通信には大きく分けて、電界方式と電流方式の2つがあり、当社は電界方式を採用しました。電界方式は、送信機により人体の表面に変調電界を誘起させ、印加された電界の情報を受信機で検出するものです。

電界方式の特長は、人体表面に発生させた電界で通信を行うため、送受信機の電極と人体が直接触れていなくても通信が可能なこと。例えば、入退出管理に使用した場合、従来の非接触ICカードに比べ、カードを取り出す必要がなく利便性の向上が可能。

今後当社は、様々な用途に展開されると想定される人体通信技術のさらなる研究・開発を推進し、モジュールとしての製品化に向けて作業を進め、事業の拡大を図ってまいります。

### 人体通信モジュール

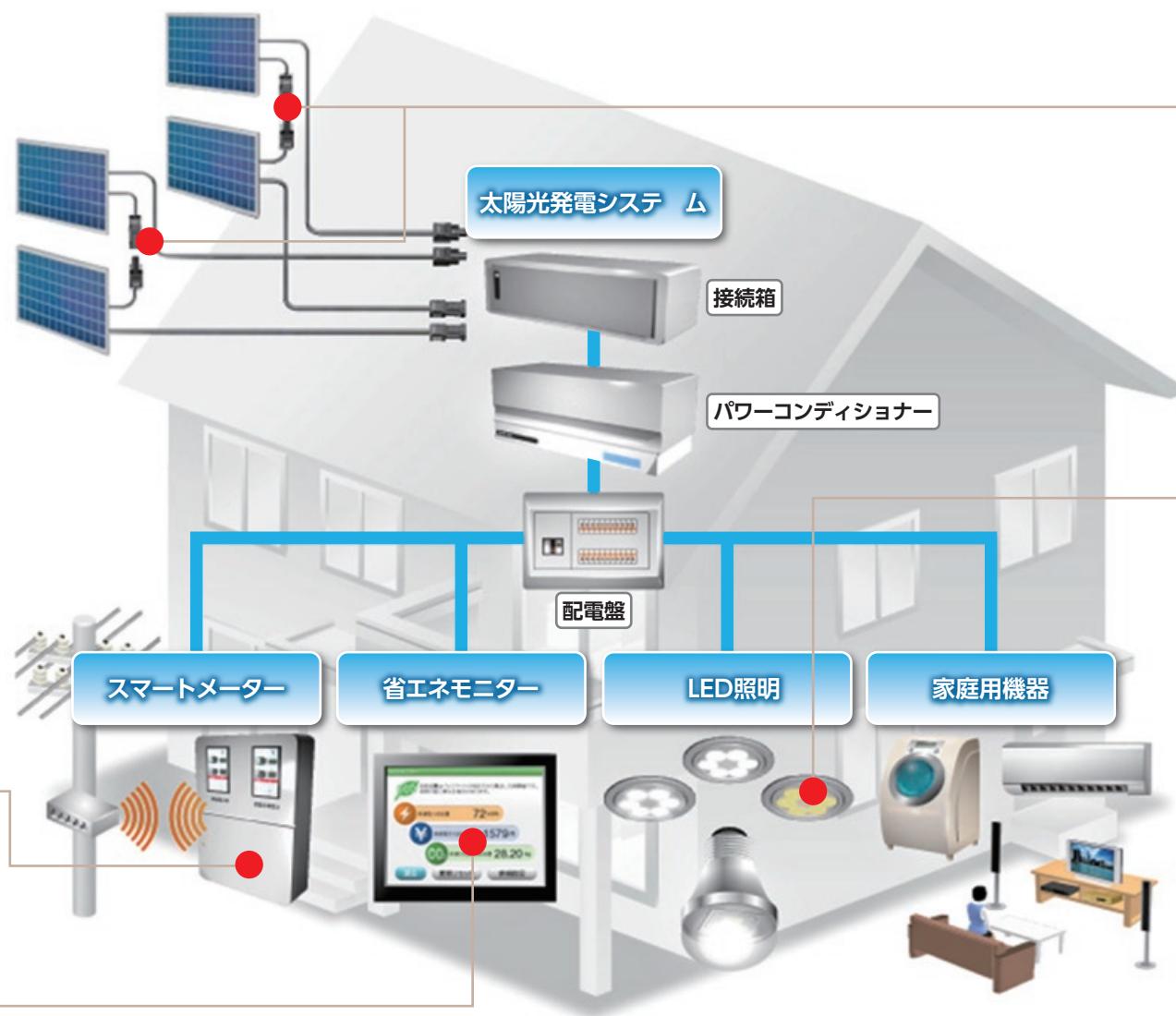
用途：入退出管理システム等



### SMKの環境関連機器市場への取り組み

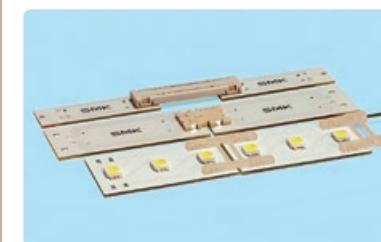
SMKは、太陽光発電システム、LED照明、省エネモニター、スマートメーターなどの環境関連機器への貢献を目指し、幅広いニーズに応える電子部品の開発を図っています。

太陽光発電システム向けには、独自の防水構造によりケーブルの防水処理が容易に行え、作業性・防水性に優れた「太陽電池モジュール用コネクタ」を、LED照明機器向けにはLEDの発熱による温度環境に対応した「LED照明用コネクタ」をというように、お客様のご要望にお応えできる商品開発を積極的に行っています。長年培った実績と技術力を活かし、省エネモニターとスマートメーター向けの新製品開発にも努めています。



太陽光発電システム

太陽電池モジュール用コネクタ



LED照明

LED照明用コネクタ

スマートメーター



特定小電力無線通信モジュール

省エネモニター



抵抗感圧式タッチパネル

### 太陽光発電システム施工展 (PVシステムEXPO) に出展

2011年3月2日～4日の3日間、東京ビッグサイトにおいて「PVシステムEXPO」(太陽光発電システム施工展)が開催されました。この展示会は太陽光発電システムを構成するシステム機器をはじめ、システムの設計、施工、取付け、メンテナンスに関する製品、技術が一堂に出展する国際専門展示会です。

当社も太陽電池モジュール用コネクタ、LED照明用コネクタなど環境市場関連製品を多数展示いたしました。



## PadDock 10™ 開発・販売開始

当社では、iPad用スピーカードックステーション「PadDock 10™」を開発、販売を開始いたしました。本製品は、iPadを搭載した時の充電、またパソコンと接続してiTunesと同期を行うことができる回転機能付きのスタンド型のドックステーションです。アンプ付きスピーカーが搭載されており、iTunesと同期をしてスピーカーから音楽を聴くことができます。

本製品は2011年1月6日～9日までラスベガスで開催された展示会「INTERNATIONAL CES」のSMK-Linkゾーンでも展示され、来場者の高い関心を集めました。



### 特長

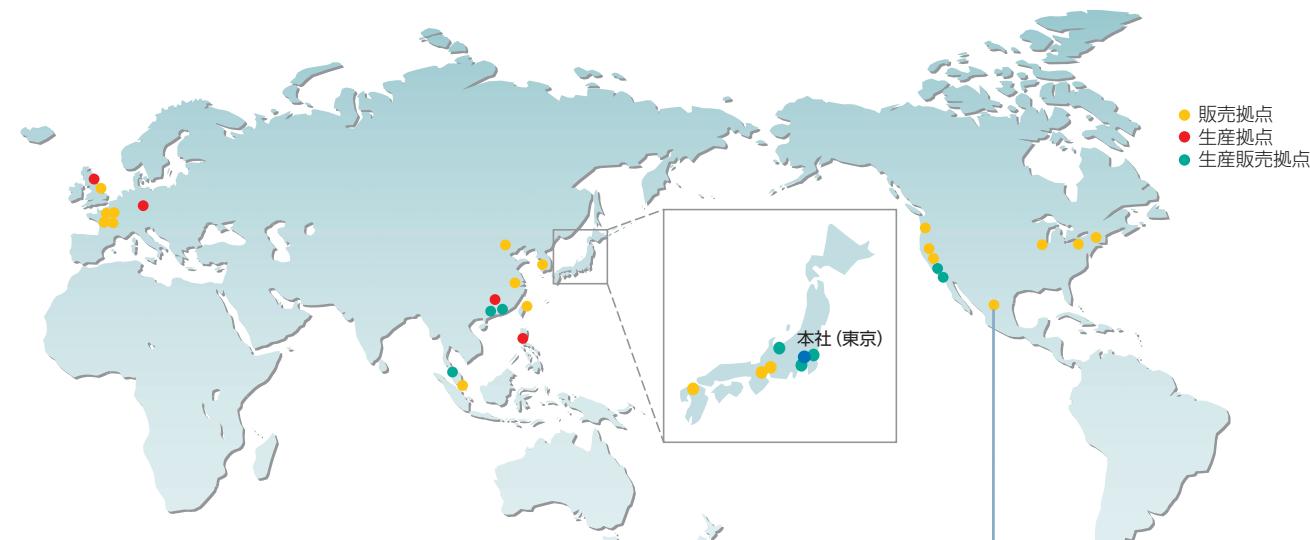
- ①iPadへの充電機能
- ②iTunesとの同期機能
- ③スタンド回転機能  
(縦横の画面切替に対応)
- ④iPad画面を見やすい角度に調整  
できるチルト機能



## 米国関係会社SMK-Link、仏Movea社よりGyration事業部門を取得

2011年1月、米国関係会社SMK-Linkは仏Movea社よりGyration事業部門を取得しました。

今回SMKが取得した事業は、モーションコントロール技術によるAir Mouse (US登録商標) 製品などで定評があるものです。この事業の取得によりSMK-Linkは、Movea社の保有するスマートモーション™、モーションツールなどのライセンスを使用した製品の開発、製造および販売も行うことができようになり、取扱い製品を拡充することができました。また、欧米で高い知名度を持つGyrationブランドの活用により、さらなる販売の拡大が期待されます。



### アメリカ/メキシコ SMK Manufacturing, Inc. / SMK Electronica S.A. de C.V.



SMK Electronica S.A. de C.V. 工場長 Marco Lopez

1988年に設立されたSMK Electronicalはメキシコの最北西、ティファナに2つの工場があり、1982年に設立されたSMK Manufacturingは米国の最南西、メキシコ工場から約10km離れたサンディエゴに位置しています。米国市場への玄関口としての重要拠点であり、また米国との国境近辺で求職するメキシコ人労働力の優位性により各種民生市場へのリモコンの製造、販売を主に行っています。ティファナとサンディエゴは活発な北米経済区域で、NAFTA (北米自由貿易協定) のとても重要な都市でもあります。



### ASIA

SMK High-Tech Taiwan Trading Co., Ltd.  
SMK Electronics (H.K.) Ltd.  
SMK Trading (H.K.) Ltd.  
SMK Dongguan Gaobu Factory  
SMK Electronics (Shenzhen) Co., Ltd.  
SMK Electronics (Shenzhen) Co., Ltd. Futian Office  
SMK Electronics (Shenzhen) Co., Ltd. Xi'an Office  
SMK Electronics Technology Development (Shenzhen) Co., Ltd.  
SMK Electronics Trading (Shanghai) Co., Ltd.  
SMK Electronics INT'L Trading (Shanghai) Co., Ltd.  
SMK Electronics INT'L Trading (Shanghai) Co., Ltd. Beijing Office  
SMK Electronics Singapore Pte. Ltd.  
SMK Electronics (Malaysia) Sdn. Bhd.  
SMK Electronics (Philis.) Corporation  
SMK Korea Co., Ltd.

### EUROPE

SMK Europe N.V.  
SMK Europe N.V., U.K. Branch  
SMK Europe N.V., France Branch  
SMK Europe N.V., Munich Office  
SMK Europe N.V., Dortmund Office  
SMK (U.K.) Ltd.  
SMK Hungary Kft.

### NORTH AMERICA

SMK Electronics Corporation U.S.A.  
SMK Electronics Corporation U.S.A., San Jose Office  
SMK Electronics Corporation U.S.A., East Office  
SMK Electronics Corporation U.S.A., Los Angeles Office  
SMK Electronics Corporation U.S.A., Seattle Office  
SMK Electronics Corporation U.S.A., Chicago Office  
SMK Electronics Corporation U.S.A., Detroit Office  
SMK-Link Electronics Corporation  
SMK Manufacturing, Inc.  
SMK Electronica S.A. de C.V.  
SMK Mexicana S.R.L. de C.V.  
SMK Mexicana S.R.L. de C.V., Mexico City Office

## 決算概要 (連結)

連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科目	第88期 (2010年3月31日)	第89期 (2011年3月31日)
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	33,980	31,854
固定資産	22,133	21,205
有形固定資産	16,933	16,245
無形固定資産	551	605
投資その他の資産	4,648	4,353
資産合計	56,113	53,059
<b>(負債の部)</b>		
1 流動負債	17,633	16,761
1 固定負債	7,352	6,435
負債合計	24,986	23,197
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	33,194	32,917
資本金	7,996	7,996
資本剰余金	12,353	12,352
利益剰余金	15,798	15,876
自己株式	△2,953	△3,308
その他の包括利益累計額	△2,187	△3,182
その他有価証券評価差額金	499	266
為替換算調整勘定	△2,686	△3,449
新株予約権	116	123
少数株主持分	3	4
純資産合計	31,127	29,862
負債純資産合計	56,113	53,059

### POINT 1

短期借入金および長期借入金が前期に比べて減少いたしました。

### POINT 2

東日本大震災の影響により、災害による損失を計上いたしました。

### POINT

1株当たりの年間配当金は9円とさせていただきます。

連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	第88期 (自 2009年4月1日 至 2010年3月31日)	第89期 (自 2010年4月1日 至 2011年3月31日)
売上高	64,371	61,914
売上原価	54,009	51,345
売上総利益	10,361	10,568
販売費及び一般管理費	7,882	7,814
営業利益	2,479	2,754
営業外収益	1,318	1,158
営業外費用	1,216	1,407
経常利益	2,582	2,505
特別利益	169	43
2 特別損失	677	731
税金等調整前当期純利益	2,074	1,817
法人税、住民税及び事業税	560	433
法人税等調整額	△348	345
法人税等合計	212	778
少数株主損益調整前 当期純利益	—	1,038
少数株主利益	—	0
当期純利益	1,862	1,037

連結株主資本等変動計算書

第89期 (自 2010年4月1日 至 2011年3月31日)

(単位：百万円)

科目	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
2010年3月31日残高	7,996	12,353	15,798	△2,953	33,194
<b>当期変動額</b>					
剰余金の配当	—	—	△960	—	△960
当期純利益	—	—	1,037	—	1,037
自己株式の取得	—	—	—	△356	△356
自己株式の処分	—	△0	—	1	1
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	—	—	—	—	—
当期変動額合計	—	△0	77	△355	△277
2011年3月31日残高	7,996	12,352	15,876	△3,308	32,917
<b>その他の包括利益累計額</b>					
	その他有価証券評価差額金		為替換算調整勘定		その他の包括利益累計額合計
2010年3月31日残高	499	△2,686	△2,187	116	3
<b>当期変動額</b>					
剰余金の配当	—	—	—	—	△960
当期純利益	—	—	—	—	1,037
自己株式の取得	—	—	—	—	△356
自己株式の処分	—	—	—	—	1
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△232	△762	△995	6	0
当期変動額合計	△232	△762	△995	6	0
2011年3月31日残高	266	△3,449	△3,182	123	4
<b>純資産合計</b>					
2010年3月31日残高	499	△2,686	△2,187	116	3
<b>当期変動額</b>					
剰余金の配当	—	—	—	—	△960
当期純利益	—	—	—	—	1,037
自己株式の取得	—	—	—	—	△356
自己株式の処分	—	—	—	—	1
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△232	△762	△995	6	0
当期変動額合計	△232	△762	△995	6	0
2011年3月31日残高	266	△3,449	△3,182	123	4

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	第88期 (自 2009年4月1日 至 2010年3月31日)	第89期 (自 2010年4月1日 至 2011年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,003	6,230
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,480	△4,001
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,741	△3,347
現金及び現金同等物に係る換算差額	△182	△247
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△400	△1,366
現金及び現金同等物の期首残高	9,072	8,749
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	77	—
現金及び現金同等物の期末残高	8,749	7,382

## 決算概要 (単独)

### 貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科目	第88期 (2010年3月31日)	第89期 (2011年3月31日)
<b>(資産の部)</b>		
<b>流動資産</b>	<b>27,864</b>	<b>27,106</b>
現金及び預金	4,239	3,526
受取手形及び売掛金	19,099	17,864
たな卸資産	1,800	1,764
その他	2,724	3,950
<b>固定資産</b>	<b>22,347</b>	<b>20,065</b>
有形固定資産	11,615	10,568
無形固定資産	118	117
投資その他の資産	10,613	9,378
<b>資産合計</b>	<b>50,211</b>	<b>47,171</b>
<b>(負債の部)</b>		
<b>流動負債</b>	<b>14,999</b>	<b>13,617</b>
支払手形及び買掛金	3,330	3,417
短期借入金	4,406	3,198
未払金	5,529	5,141
その他	1,732	1,859
<b>固定負債</b>	<b>6,920</b>	<b>6,002</b>
長期借入金	6,309	5,470
繰延税金負債	5	—
役員退職慰労引当金	152	125
その他	452	406
<b>負債合計</b>	<b>21,920</b>	<b>19,619</b>
<b>(純資産の部)</b>		
<b>株主資本</b>	<b>27,693</b>	<b>27,173</b>
資本金	7,996	7,996
資本剰余金	12,353	12,352
利益剰余金	10,174	10,009
自己株式	△2,831	△3,184
<b>評価・換算差額等</b>	<b>482</b>	<b>254</b>
その他有価証券評価差額金	482	254
<b>新株予約権</b>	<b>116</b>	<b>123</b>
<b>純資産合計</b>	<b>28,291</b>	<b>27,552</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>50,211</b>	<b>47,171</b>

### 損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	第88期 (自 2009年4月1日 至 2010年3月31日)	第89期 (自 2010年4月1日 至 2011年3月31日)
<b>売上高</b>	<b>53,683</b>	<b>52,269</b>
売上原価	48,944	46,722
<b>売上総利益</b>	<b>4,739</b>	<b>5,547</b>
販売費及び一般管理費	4,310	4,216
<b>営業利益</b>	<b>428</b>	<b>1,330</b>
営業外収益	2,069	1,993
営業外費用	1,063	1,048
<b>経常利益</b>	<b>1,434</b>	<b>2,276</b>
特別利益	146	38
特別損失	764	1,114
<b>税引前当期純利益</b>	<b>816</b>	<b>1,200</b>
法人税、住民税及び事業税	62	67
法人税等調整額	△351	338
法人税等合計	△288	405
<b>当期純利益</b>	<b>1,105</b>	<b>795</b>

### 株主資本等変動計算書

第89期 (自 2010年4月1日 至 2011年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本						株主資本合計
	資本金	資本剰余金 資本準備金	利益剰余金 その他資本剰余金	利益剰余金 利益準備金	利益剰余金 その他利益剰余金	自己株式	
<b>2010年3月31日残高</b>	<b>7,996</b>	<b>12,057</b>	<b>296</b>	<b>1,306</b>	<b>8,868</b>	<b>△2,831</b>	<b>27,693</b>
<b>当期変動額</b>							
剰余金の配当	—	—	—	—	△960	—	△960
当期純利益	—	—	—	—	795	—	795
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△355	△355
自己株式の処分	—	—	△0	—	—	1	1
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	—
<b>当期変動額合計</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>△0</b>	<b>—</b>	<b>△165</b>	<b>△353</b>	<b>△519</b>
<b>2011年3月31日残高</b>	<b>7,996</b>	<b>12,057</b>	<b>295</b>	<b>1,306</b>	<b>8,702</b>	<b>△3,184</b>	<b>27,173</b>
<b>評価・換算差額等</b>							
	その他有価証券評価差額金		評価・換算差額等合計		新株予約権	純資産合計	
<b>2010年3月31日残高</b>	<b>482</b>		<b>482</b>		<b>116</b>	<b>28,291</b>	
<b>当期変動額</b>							
剰余金の配当	—		—		—	△960	
当期純利益	—		—		—	795	
自己株式の取得	—		—		—	△355	
自己株式の処分	—		—		—	1	
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△227		△227		6	△220	
<b>当期変動額合計</b>	<b>△227</b>		<b>△227</b>		<b>6</b>	<b>△739</b>	
<b>2011年3月31日残高</b>	<b>254</b>		<b>254</b>		<b>123</b>	<b>27,552</b>	

## 株式の状況 (2011年3月31日現在)

発行可能株式総数…………… 195,961,274株

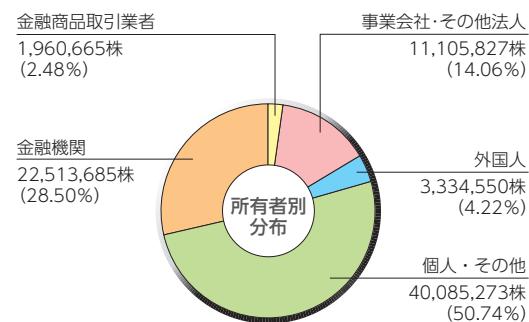
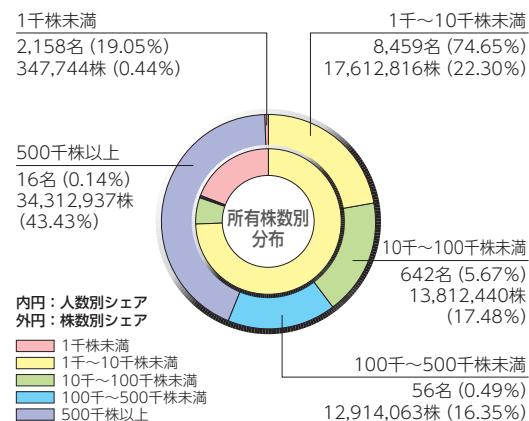
発行済株式の総数…………… 79,000,000株

株主数…………… 11,331名

大株主（上位10名）

株主名	持株数	持株比率
	千株	%
日本生命保険相互会社	4,001	5.48
株式会社みずほコーポレート銀行	3,619	4.95
大日本印刷株式会社	3,200	4.38
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,134	4.29
SMK協力業者持株会	2,034	2.78
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,937	2.65
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,643	2.25
池田彰孝	1,540	2.10
財団法人昭和池田記念財団	1,500	2.05
SMK社員持株会	1,484	2.03

(注) 当社は自己株式6,002千株を保有しておりますが、上記株主からは当社を除いており、また、上記持株比率は自己株式を除外して算定しております。



## 当社の詳細なIR情報は、ホームページをご覧ください。

SMKのホームページの「IR情報」では過去の経営報告書や決算短信などの情報を掲載しています。また、当社製品情報や企業情報、CSR、環境活動への取り組みなどもご覧いただけます。

SMK IR



## コーポレートデータ (2011年3月31日現在)

### 会社概要

- 商号 SMK株式会社
- 英文社名 SMK Corporation
- 設立 1929年(昭和4年)1月15日
- 主たる事業 電気通信および電子機器等用品の国内および海外における製造・販売
- 資本金 7,996,828,021円
- 従業員数(SMKグループ) 11,969名
- 本社 〒142-8511 東京都品川区戸越6丁目5番5号  
TEL (03) 3785-1111 (大代表)  
FAX (03) 3785-1878  
ホームページアドレス <http://www.smk.co.jp/>

### 役員一覧 (2011年6月23日現在)

#### 取締役および監査役

- |           |       |
|-----------|-------|
| 代表取締役社長   | 中村哲也  |
| 代表取締役副社長  | 池田靖光  |
| 取締役常務執行役員 | 山田一   |
| 取締役常務執行役員 | 櫻井慶雄  |
| 取締役       | 棚橋祐治  |
| 常勤監査役     | 池田彰孝  |
| 常勤監査役     | 小林健二  |
| 監査役       | 杉原幸一郎 |
| 監査役       | 中島成   |
| 監査役       | 関晴孝   |

#### 執行役員

- |        |          |
|--------|----------|
| 常務執行役員 | 角芳幸      |
| 常務執行役員 | ポール・エバンズ |
| 執行役員   | 松本秀夫     |
| 執行役員   | 歌崎晃雄     |
| 執行役員   | 若林幹雄     |
| 執行役員   | 磯田勉      |
| 執行役員   | 宮川宏哉     |
| 執行役員   | 柳茂哉      |
| 執行役員   | 石橋竹己     |
| 執行役員   | 大垣幸平     |

### 事業所一覧

- ゲートシティオフィス 〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2  
ゲートシティ大崎 イーストタワー18階  
TEL (03) 3785-1111 (大代表)
- 大阪支店 〒535-0021 大阪府大阪市旭区清水4-3-11  
TEL (06) 6953-7222 (代)
- 名古屋支店 〒453-0014 愛知県名古屋市中村区則武1-19-13 KSビル6階  
TEL (052) 453-3011 (代)
- 茨城営業所 〒319-1301 茨城県日立市十王町伊師20-9  
TEL (0294) 20-2144
- 北陸営業所 〒939-2366 富山県富山市八尾町保内1-1  
TEL (076) 455-1213
- 福岡営業所 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前3-25-24 八百治ビル6階  
TEL (092) 472-7236
- 富山事業所・富山テクノロジーセンター 〒939-2366 富山県富山市八尾町保内1-1  
TEL (076) 455-1212 (代)
- ひたち事業所 〒319-1301 茨城県日立市十王町伊師20-9  
TEL (0294) 20-2111 (代)
- 大和事業所 〒242-0026 神奈川県大和市草柳3-1-8  
TEL (046) 262-0711
- やまと流通センター 〒242-0026 神奈川県大和市草柳3-1-8  
TEL (046) 262-6861
- 海外拠点 台湾・香港・中国・シンガポール・フィリピン・韓国・マレーシア・ベルギー・ドイツ・イギリス・フランス・ハンガリー・アメリカ・メキシコ

## 株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

定時株主総会 6月開催（年一回）

期末配当金受領株主確定日 3月31日

中間配当金受領株主確定日 9月30日

定時株主総会の基準日 3月31日

上記のほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

公告掲載URL <http://www.smk.co.jp/>

ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告とすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

上場取引所 東京証券取引所（市場第一部）

証券コード 6798

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号

TEL 0120-232-711（通話料無料） インターネットアドレス <http://www.tr.mufig.jp/daikou/>

### 【株式に関するお問合せ先・お手続き先】

株式に関するお問合せ先および株主様の住所変更、単元未満株式の買増・買取請求、特別口座から証券会社の口座へのお振替、配当金のお振込等のお手続き窓口は、次のとおりとなります。

1. 証券会社の口座で株式をご所有の株主様：株主様が口座を開設されている証券会社の本支店
2. 特別口座で株式をご所有の株主様：三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
（上記株主メモの「株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関」をご参照ください。）

なお、未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

### 【単元未満株式（1,000株未満の株式）の買増・買取請求のご案内】

単元未満株式をご所有の株主様は、1,000株に不足する数の株式を当社から買い増し、単元株とすることができます。また、ご所有の単元未満株式を時価にて当社にご売却することもできます。なお、当社は、単元未満株式の買増・買取請求にかかる手数料は無料<sup>(注)</sup>です。

(注) 証券会社等に支払う取次手数料につきましては、お取引のある証券会社等にお問合せください。

### 【特別口座から証券会社の口座へのお振替のご案内】

特別口座に記録された株式は売買ができませんので、特別口座から証券会社へのお振替をお奨めいたします。

### 【配当金のお振込によるお受取りのご案内】

配当金のお振込先をご指定いただけますと、配当金は当社からご指定の口座へ直接お振込みさせていただくことになり、安全かつ確実に配当金をお受け取りいただけます。

ぜひ、この機会に上記お手続きをご検討ください。

## SMK株式会社

〒142-8511 東京都品川区戸越6丁目5番5号

TEL (03) 3785-1111 (大代表) FAX (03) 3785-1878

ホームページアドレス <http://www.smk.co.jp/>

表紙に掲載されている製品写真は、当社の新製品です。  
「新製品ご紹介」（7、8ページ）で詳しくご紹介しております。

